

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587030101	科目番号 / Subject code	05870301
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ことばと文化とコミュニケーション (数と表現)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇田 廣文		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇田 廣文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇田 廣文		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	khiraoka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部3F 313		
担当教員TEL / Tel	095-819-2323		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後、約1時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>数は文化の重要な構成要素であることを、その歴史等を通して理解する。  また、数学的な考え方は多様であり有用であることを、様々な事例を通して理解する。  さらに、数学の美しさや面白さを体感することを目指す。  自然科学の基礎科目であり、数が活用されてきたこととそのよさを数学の観点から考察する。  数の歴史や数がことばとして活用されてきたことに理解を深めることができる。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>数の表記とその歴史、数の表現のよさについて理解することができる。  数や数列、分数などのよさやその意味について理解することができる。  単位の考えや余りの考えのよさを理解することができる。  敷き詰めのよさについて、理解することができる。  数の面白さや不思議さなどを感じ取ることができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	講義と演習を中心に行う。知識として受け止めるのではなく、自らの実践を通して体感する取り組みをする。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	数の起源、数の活用、数と形の数理、パターン、余りの考え		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配付資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験60点、課題20点、学習状況20点とし、60点以上合格 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
受講要件(履修条件) / Requirements	高校の数学・Aおよび数学・Bを履修していることが望ましい。 数や数学に興味・関心を持ち、授業中にしっかり考えることができる。		
学生へのメッセージ / Message for students	数に興味・関心を持ち、課題や演習に積極的に取り組むこと、授業では集中して考えることが大切である。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス		
第2回	数の歴史と記数法		
第3回	数を図形で表す(1)		
第4回	数を図形で表す(2)		
第5回	計算とパターン		
第6回	和と平方和		
第7回	カレンダーに潜む数理		
第8回	余りによる計算		
第9回	素数に親しむ		
第10回	フェルマーの小定理		
第11回	フィボナッチ数列		
第12回	パスカルの三角形		

第13回	エジプト式分数
第14回	実数の性質と平均
第15回	正多角形の分割
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587030501	科目番号 / Subject code	05870305
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ことばと文化とコミュニケーション (音楽と表現)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 治		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 治		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 治		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	学生プラザ1F 多目的室1		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館516室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについて自らのことばで語ったり書いたりすることができる。また、それを他者に伝え共有することができる。		
授業到達目標/Goal	音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。 自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	ディスカッション、フィールドワーク、講義、プレゼンテーション、ドラミングなど		
授業内容/Class outline/Con	音の風景 (サウンドスケープ) について体験的に理解する活動を行う。音楽以前の音そのもの、そして沈黙に焦点を当て、私たちがいかにそれらから影響を受けているかを体験的に理解する。最終的には、受講生全員で長崎のいい音の風景を選定し、冊子としてまとめ、大学外に対して発信することを旨とする。		
キーワード/Key word	サウンドスケープ 音の風景		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考文献は以下の通り。 サウンドスケープ その思想と実践、鳥越 けい子 (著) 出版社: 鹿島出版会 (1997/03) サウンドスケープの詩学 フィールド篇、鳥越 けい子 (著) 出版社: 春秋社; A5版 (2008/3/25) 音さがしの本 増補版、リトル・サウンド・エデュケーションR. マリー・シェーファー (著)、今田 匡彦 (著) 出版社: 春秋社; 増補版 (2009/1/15) 世界の調律 サウンドスケープとはなにか (平凡社ライブラリー)、R. マリー・シェーファー (著)、鳥越 けい子 (翻訳) 出版社: 平凡社 (2006/5/10)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート・提出物 70% 出席・講義への参加度 30% 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション グループ分け		
第2回	ドラムサークル1 音と沈黙の体験 そしてその言語化		
第3回	ドラムサークル2 音と沈黙の体験 そしてその言語化		
第4回	サウンドスケープとは 長崎いい音の風景20選 紹介		
第5回	フィールドワーク1 長崎いい音の風景20選めぐり		
第6回	フィールドワーク1の振り返りとシェア		
第7回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 選定作業1 フィールドワーク2 推薦する場の選定		
第8回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 選定作業 フィールドワーク2の振り返りとシェア		
第9回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 選定作業 フィールドワーク3 推薦する場の選定		

第10回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 選定作業 フィールドワーク3の振り返りとシェア
第11回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 選定作業 仮決定と検討
第12回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 選定作業 本決定
第13回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 広報活動 冊子の作成
第14回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 広報活動 冊子の配布
第15回	長大生が選ぶ長崎いい音の風景20選 総括 活動を通しての学び
第16回	サウンドスケープデザインとは何か 音の風景を言葉で語ることの難しさと楽しさ

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587030901	科目番号 / Subject code	05870309
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ことばと文化とコミュニケーション (多文化理解とことば)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川越 明日香		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川越 明日香		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川越 明日香, 楠山 研, 劉 卿美, BEH SIEWKEE		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawagoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部254-1号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2773		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取ってから来室してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	国際社会で活躍する人にとって多文化理解能力は必須である。本授業においては、韓国・マレーシアなどの文化を例に取り上げ、その特徴を理解するとともに、相互理解を深める方法について考える。		
授業到達目標/Goal	他国の文化の特徴を理解するとともに、共生のための相互理解のあり方を考える力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義、プレゼンテーション、グループ討論など		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	多文化理解、相互理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各教員25点(予習課題+授業中の活動+定期試験)で採点を行う。 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、LACS説明 [担当: 川越教員]		
第2回	ことばを用いないコミュニケーション [担当: 川越教員]		
第3回	日本理解のキーワード [担当: 劉教員]		
第4回	日本理解のキーワード [担当: 劉教員]		
第5回	韓国理解のキーワード [担当: 劉教員]		
第6回	韓国理解のキーワード [担当: 劉教員]		
第7回	日本人の人気移住先No.1?! [担当: ベー教員]		
第8回	3つの時間割表からみるマレーシアの教育と言語 [担当: ベー教員]		
第9回	3つの時間割表からみるマレーシアの教育と言語 [担当: ベー教員]		
第10回	多民族社会の魅力と課題 [担当: ベー教員]		
第11回	ことばの多様性とは [担当: 楠山教員]		
第12回	ことばの多様性が引き起こす問題 [担当: 楠山教員]		
第13回	わたしたちができること [担当: 楠山教員]		
第14回	最終プレゼンテーション [担当: 川越教員、楠山教員、ベー教員]		
第15回	最終プレゼンテーション [担当: 川越教員、楠山教員、ベー教員]		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587031301	科目番号 / Subject code	05870313
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ことばと文化とコミュニケーション (文字とことば)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 慶子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 慶子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 慶子, 中村 文子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiko-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部514研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本語表現のうち、文字言語によるものの特徴を多角的に吟味し、言語力を深める。		
授業到達目標/Goal	1) 自分自身の「文字とことば」力を客観的に認識することができる。( ) 2) 日本文書の特徴を理解し、実際に書くことができる。( ) 3) 文字言語による日本語表現の特徴を俯瞰することができる。( )		
授業方法 (学習指導法) /Method	問題に基づいたグループ学習とその結果の発表 質疑応答 学習報告書の提出		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	日常生活、文字言語、コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『美しい日本語表現』池田悠子著 双文社 『書字のススメ』石川九揚著 新潮社 『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3回の欠席で失格。12回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [ 10% ] 個人レポート [ 20% ] グループレポート(学習報告書) [ 40% ] 試験 [ 30% ]		
受講要件 (履修条件) /Requirements	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講基礎調査 グループ編成		
第2回	受講基礎調査をふまえて 「文字とことば」力の自己診断		
第3回	話し言葉と書き言葉		
第4回	会話と人称		
第5回	敬語		
第6回	敬語		
第7回	案内状を書く		
第8回	手紙を書く		
第9回	手紙を書く		
第10回	添え状を書く		
第11回	添え状を書く		
第12回	封書を書く		
第13回	封書を書く		
第14回	原稿用紙に書く		

第15回	文字言語による日常表現の特徴
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587031701	科目番号 / Subject code	05870317
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ことばと文化とコミュニケーション (脳とことば)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川越 明日香		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川越 明日香		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川越 明日香, 松本 優花里		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kawagoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部254-1号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2773		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールでアポイントを取ってから来室してください。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ことばの発達について学ぶ ことばを制御する脳の構造を学ぶ 種々の脳の機能不全がことばの産出や理解に及ぼす影響の違いについて知る ことばの問題を克服するための手段について学ぶ		
授業到達目標 / Goal	ことばの発達について理解できる 脳とことばの関係を理解できる。 脳の機能不全によることばに関連した障害様相について理解できる。 障害と健常の垣根を越えて、授業で学んだことをよりよいコミュニケーションを目指した実生活に生かすことが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	集中講義形式で行います。講義と、講義に関連した実験、グループワークとプレゼンテーション、そしてグループディベート等を随時取り入れていきます。そのため、それぞれの作業に必要な内容を事前に準備することが必須となります。事前の準備の内容については提出を求め、成績評価の対象とします。また、障害様相を把握するため、視覚教材の視聴も行います。各授業終了時には、質問や感想を書くためのコミュニケーションカードの記入を求めます。コミュニケーションカードは、次回の授業での振り返りや皆さんの授業の理解度の確認に利用します。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	ことば, 脳損傷, 認知		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しません。講義内容に即した資料を事前に配布します。授業で紹介する障害の様相をより詳しく理解するため、視聴覚教材を利用します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	予習による準備物を含む授業時のグループワークやグループディスカッションの成果物 (30%)、予習復習を含むクイズ (15%)、コミュニケーションカードの提出を含む、授業への積極的な参加・貢献度 (15%)、および定期試験 (40%)、から総合的に判断して成績評価を行います。 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	良い聞き手になるための方法を学ぶ 子どもの発達		
第2回	ことばの発達に関するプレゼンテーションの準備		
第3回	ことばの発達に関するプレゼンテーション		
第4回	プレゼンテーションフィードバック ことばの発達に関するまとめ (DVD視聴)		
第5回	ことばの発達に関する振り返り		
第6回	脳に関するプレゼンテーションの準備		
第7回	脳に関するプレゼンテーション		
第8回	プレゼンテーションフィードバック 脳の進化と発達、脳の特性と構造のまとめ		
第9回	脳の進化と発達、脳の特性と構造の振り返り		
第10回	脳の損傷がもたらす障害についてのプレゼンテーションの準備		

第11回	脳の障害がもたらす障害についてのプレゼンテーション
第12回	プレゼンテーションフィードバック 脳の損傷がもたらす障害についてのまとめ
第13回	脳の損傷がもたらす障害についての振り返り 脳とことばに関する様々なテーマに関するディベートの準備
第14回	ディベートしよう
第15回	脳とことばのまとめ
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587031801	科目番号 / Subject code	05870318
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ことばと文化とコミュニケーション (ICTとことば)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福田 正弘		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	福田 正弘		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	福田 正弘, 全 炳徳		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fukuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部553室		
担当教員TEL / Tel	819-2315		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ICT機器を制御することばを理解するとともに、ICTを活用したコミュニケーションの重要性を学ぶ。また、IT機器の操作を通して、生活を豊かにするICT活用法を学ぶ。さらにICT活用の倫理も身に付ける。		
授業到達目標 / Goal	1) 社会におけるICTの活用とその制御の仕組み、種々の課題について関心を持ち、主体的に課題解決に向け探求しようとする。 2) ICTを制御している各種言語を理解し、ICT機器を使った表現活動を通してその意味を説明できる。 3) ICTを活用した社会シミュレーションにおいて、協同して意思決定するとともに、社会認識上の意味を考えることができる。 4) ICT機器の操作を通して、目的にあった適切な情報処理ができる		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本事項の講義の後、演習課題を提示、個人演習とともにグループワークを採り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con	1 オリエンテーション 2-8【1部 ICTを支える言語】 9-15【2部 ICTを用いた意思決定】 16 定期試験		
キーワード / Key word	IT 言語 マッピング シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1部2部各50%で、合計60%以上が合格。 欠席が3分の1以上の場合は失格。 * 評価の方法・観点 1部2部共に、授業中の学習状況、レポート等の課題の成果物、発表内容と態度、試験を総合的に判断する。グループによる活動については、グループの協力状況も評価の対象とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし。希望者多数の場合は選考になる場合もある。		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回の課題とグループワークを重視します。頑張ってください。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	マッピングブラザを支えるICT言語とIT機器		
第3回	マッピングブラザを支えるICT言語を体験		
第4回	マッピングブラザを支えるICT言語を体験		
第5回	マッピングブラザを支えるICT機器を体験		
第6回	マッピングブラザを支えるICT機器を体験		
第7回	マイ・マッピングブラザの作成		
第8回	マイ・マッピングブラザの発表・評価		
第9回	ガイダンス・課題提示・グルーピング・シミュレーションのデモ		
第10回	シミュレーション 1		

第11回	シミュレーション1 続き・シミュレーション結果の分析
第12回	発表準備・資料作成
第13回	発表と相互評価・反省1
第14回	発表と相互評価・反省2・まとめ
第15回	シミュレーション2
第16回	定期試験